

2018年6月5日(火)

英会話道場イングリッシュヒルズ
文書教材

道に迷ったとき、「原点・出発点」に戻ると、道が見えてくる

生井利幸

<はじめに>

本稿では、わたくし生井利幸自身、再び「原点・出発点」(starting point)に戻り、当・英会話道場イングリッシュヒルズで学ぶすべての学習者に対して、再度、「最も堅実な学び方」、即ち、「最も地に足の着いた学び方」について講じます。

< 1 >

「講師に電話をする」という行為の意味

日々、通常レッスンのための予習・復習をしているそのプロセスにおいて、道に迷ったとき、自分一人で困惑していると、“足踏み状態”が続きます。

そのようなとき、しっかりと前に進むための秘訣は、躊躇することなく講師に電話をし、その問題について講師に相談することです。

教室ウェブサイトの「特別講義ページ」には、質問・相談等がある場合には、「ホットライン制度」、即ち、「指定の時間枠において、電話で講師に相談できる」という旨が書かれて

います。しかし、「緊急の必要性」がある場合には、平日・週末共に、時間帯に関係なく、いつでも電話で相談してください。

講師であるわたくし生井利幸は、平日・週末に関係なく、即、受講生の皆さんの悩みに対応し、受講生ご本人にとって最も適切な指導・助言を与えるための「心の準備」を堅持し続けています。

< 2 >

「英語は簡単である」という捉え方は、 英語の深さを知らない人が抱く「思い込みの典型」である

「英語は世界中で話されている。だから、英語は簡単である」という捉え方は、英語を体系的に学習・習得していない人が述べる「盲目の見方・考え方・捉え方」です。

本稿において、英語についてはっきりと述べるならば、英語という言葉は、「極めてデリケートで、且つ、極めて難しい言語」です。英米でも、その他の国々でも、学術的、且つ、文化的に英語を熟知している学者・教養人・見識者等は、常に、「英語は難しい言語である」という共通認識を持っています。

「明日は何時に起きるの?」、「今日の午後、友達に会うよ!」、「チーズバーガーを1つ」、「コークを1つ」という如き決まりきった日常英語会話、即ち、『“マクドナルド”・イングリッシュ』(簡易レストランにて、店員と客の間で気軽に話されているブローケン英語)しか興味を持たない学習者は、何をどのように勉強しても、永遠に、「品格のあるエレガントな英語」が喋れるようになることはありません。

国際社会で必須の「エレガント英語」の学習・習得、そして、「国際的教養・品格を備えた英日バイリンガル」への変貌を実現したい人は、日本でも海外でも、当・英会話道場イングリッシュヒルズの完全個人指導(生井利幸が直接指導する完全個人指導)が、まさに「世界最高峰レベルの学びの場」であると明言できます。

但し、この学びの道は、決して簡単な道ではなく、「講師の指導・助言通りに、たつぷりと時間をかけて、心を込めて丁寧に学習していく」という日々を積み重ねていくことが大前提となります。

英語、即ち、「デリケートで難しい言語」を確実に学習・習得するには、単にレッスンを受講するだけでなく、ボイスレコーダーをフル活用して、毎日、自分が受講した「世界で唯一無二のレッスン」を何度も“聴いて聴いて聴き込み”、自分なりの方法でしっかりとノートに整理する学習が必要不可欠となります。

“There is no easy way in learning.”

(真の学びの道に、簡単な方法など、どこにもない。)

補足：

生井利幸が発する英語を何度も“聴いて聴いて聴き込まない限り”、心の中で強い印象を生じさせ、心の中に残すことはできません。学習・習得の秘訣は、毎日、ボイスレコーダーをフル活用して、何度も、「聴いて聴いて聴き込む経験」を重ねることです。当教室では、勉強に熱心な受講生は、通常、1年程度で、ボイスレコーダーを使い切り、故障させます。毎年、1年に1回程度、ボイスレコーダーを使い切る受講生は、「生井利幸の指導の下、英語の劇的な改善・向上・発展」を実現しています。

「ボイスレコーダーが壊れる」という事実は、毎日、何時間も、繰り返しボイスレコーダーを使っている証です。無論、新しいボイスレコーダーを買うには費用がかかりますが、自分を磨き抜くための投資という捉え方ができれば、それは「安い投資」です。通常人は、他の活動（意味のない活動、例えば、だらだらと遊ぶ目的）のために、「相当なるお金の無駄遣い」をしているものです。

< 3 >

「レッスン日記」の精読・理解が、
「学習・習得の道」を示してくれる

道に迷ってしまった場合、即ち、学習方法について困惑してしまったら、再度、「レッスン日記」の2008年3月から、順番に、少しずつ、時間をかけて丁寧に精読してください。古い日付から順番に精読していくと、「掲載内容についての認識・理解」がスムーズになります。

心を込めてしっかりとレッスン日記を精読していくと、必ず、「より実りある学習を実現するための方法・ヒント」について知ることができます。

講師自身、レッスン日記を作成・編集するために、「相当なる時間・手間暇・エネルギー」を投じています。レッスン日記は、一事が万事において、「受講生・弟子におけるより良い学習のため」にあるものです。レッスン日記は、受講生・弟子のための重要教材（根幹教材）としての役割を担っています。

レッスン日記においてしばしば紹介している、「長い期間にわたって、相当なる熱情を持って学んでいる受講生・弟子」が作成したノートの記述内容は、当教室で一定期間にわたって勉強した経験がないと理解できない深い学習内容です。それらのノートは、一般の英会話学習者が閲覧しても、その学習内容の『深さ』『重さ』について認識・理解することは難しいものです。

現在、そのようなノートを作成している受講生・弟子も、実際のところ、レッスン受講スタート1年目は、まさに、「右も左もわからない“手さぐり状態”」による学習でした。

そうした受講生・弟子が現在のような学習ステージに到達できたのは、一にも二にも、「わたくし生井利幸が与える厳格指導の下、よそ見をしないで、しっかりと自分の“汗”と“涙”で学習に学習を重ねてきた所以（ゆえん）」です。

率直に述べるならば、一般社会では、最初から「相当年数にわたって当教室で学習した受講生・弟子」と同じようなノートを作成できる学習者は皆無に等しいでしょう。

的を絞り、やってやってやり続けていくと、必ず、「何らかの光」、「具体的な方向性」が見えてきます。「自然の摂理」(law of nature)は、毎日、真面目に、継続的に努力している人に対して、平等に、その「継続的努力の成果」を与えてくれます。

重要補足：

勉強は、一にも二にも、“真面目に”やるしかありません。「毎日やり続ける人」のみが、前に進むことができます。

前に進む方法は、他にはありません。もし、あると言う人がいれば、その方法は、100パーセント間違いなく、「嘘偽り」「詐欺まがいの方法」です。

「簡単に・・・できるようになる」、「・・・はカンタン!」という文言（宣伝文句）は、この
経済社会では、いたるところで目にする文言です。